

No.J2116

Neighborhood Transformation in East Asian Cities: Is "Gentrification" the Right Frame of Reference?

ジェトロ・アジア経済研究所・研究員
任 哲

りそなアジア・オセアニア財団 2021 年度国際学術交流助成により、2021 年 9 月 1 日にオンライン公開講演会 (Frontiers of Gentrification: Perspectives from Asia) を、2022 年 5 月 15-17 日に国際シンポジウム (Neighborhood Transformation in East Asian Cities: Is "Gentrification" the Right Frame of Reference?) を開催できた。新型コロナウイルスの事情により、シンポジウムの開催時期を 2021 年から 2022 年に変更した上、対面参加・オンライン参加を可能にしたハイブリッド型シンポジウムをアジア経済研究所 (千葉) で開催した。

2021 年に開催した公開講演会は、シンポジウム開催に向けたプレイベントであり、アジアのジェントリフィケーション研究の第一人者である Hyun Bang SHIN 教授 (London School of Economics and Political Science) による講演が行われた。SHIN 教授は、ジェントリフィケーション概念の発展歴史を振り返ったうえで、アジアの都市研究ではどのような応用が可能かについて議論を展開した。講演会の参加者には 2022 年度の国際シンポジウムに出席する予定の研究者が多く、非常に有益な意見交換の場となった。また、講演会の録画資料は国際アジア研究機構 (オランダ) のウェブに無料で掲載されている。

2022 年に開催した国際シンポジウムは、基調講演と五つのパネルで構成され、二十の国と地域からの参加者が研究報告を行った。参加者たちは、シンポジウムの招集文での問題提起、SHIN 教授の講演会での議論内容と照らし合わせながら、活発な議論を繰り広げた。報告論文の中で途上国の都市研究に特化した論文 (8 本) は、英文ジャーナルの特集号で発表される計画である。また、シンポジウムに先立ち、対面式で会議に参加された方には、日本のジェントリフィケーションの現状を理解するため、東京台東区の日暮野エリアへのツアーも組織された。

一連の学術交流を通じて、アジアの都市研究分野での人的ネットワークを構築できた。そして、参加者同士で新たなプロジェクトが複数始まったので、国際学術交流の重要性を改めて認識できた。